



教科名	科目名	履修学年	履修区分	単位数
外国語	コミュニケーション 英語Ⅲ	3年 スーパー特進コース	必修	4

目 標	基本的な英語表現を学び、日常会話に必要な簡単な文章を書けるようにする。また、文法項目を学習することにより、コミュニケーションに必要な基礎・基本の徹底を図り、自らの考えを積極的に表現する態度を育成する。
教科書	PRO-VISIONⅢ（桐原書店）
副教材	PRO-VISIONⅢ Workbook（桐原書店） 速読英単語（Z会）
授業形態	講義形式で行なう。
評価規準	<p>&lt;知能及び技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけている。</li> <li>・外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</li> </ul> <p>&lt;思考力・判断力・表現等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。</li> <li>・聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習の取り組む態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</li> <li>・言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
評価方法	定期試験（期末）を中心に、小テスト、提出物、出席及び授業への取り組み状況等を考慮し、総合的に判断して評価する。
学習上の留意点	予習・復習を徹底し、授業にも積極的に取り組むこと。また、できるだけ多くの表現を使いこなせるようになること。

授業計画及び試験計画[ コミュニケーション英語Ⅲ 3年スーパー特進コース ]

cds	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
Lesson1 順序・追加の表現																
Lesson2 時を表す表現																
Lesson3 比較の表現																
Lesson4 言い換えの表現																
Lesson5 問題・解決に関する表現																
Lesson6 提案・助言の表現																
Lesson7 禁止の表現																
Lesson8 比較・対照の表現																
Lesson9 目的・理由の表現																
Lesson10 原因・結果の表現																
凡 例  授業計画  試験範囲	定期	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;">1 学期 期末 試験</div> <div style="text-align: center;">2 学期 期末 試験</div> <div style="text-align: center;">3 学期 期末 試験</div> </div>														